

ヘンリー・ミンツバーグ（1993）マネジャーの仕事。白桃書房、東京

6章 科学とマネジャーの職務

Rep. Jun Nakahara, the University of Tokyo

■ 経営学者

- プログラムを知って記述する→再プログラム化する（体系的に設計し直す）
- マネジャーは科学的分析によって規定されるような手続きに従って仕事をしていない
 - マネジャーの仕事は定式化できない=コンピュータ支援の難しさ
 - ✧ マネジャーの仕事を記述できない=マネジャーの仕事を支援できない
 - ✧ 定型的な業務ならプログラム化が可能である
 - ✧ できる領域もある=生産管理・情報処理…マネジャーの仕事は最後の領域
 - 5人の経営者の調査の結果、なにひとつプログラム化できるものはなかった
 - ✧ マネジャーの意志決定はプログラム化されない
 - リーダー=一番不可能
 - リエゾン・モニター役などはその間
 - フィギュアヘッド・スポークスマン・情報周知=シンプル

■ コンピュータプログラムとしてマネジャーの仕事をシミュレーション

- マネジャー=プログラムのプログラム（クラール=リービット pp223）
 - ✧ 明細化された一連のプログラムを監督させる
 - ✧ マネジャーの仕事の予備的なシミュレーション
- プロトコルからつくる管理業務のモデル化（ウォン p225）

■ マネジャーのスケジューリングの基礎的方法を明らかにする（ラドムスキ）

- 自分の仕事で意志決定するときに自分の思考を言葉にする→再生刺激→語り
- スケジューリング規則に関する暗黙のルールを発見（P223 を参照）
マネジャーの時間を救え！

- ✧ この部分を経営学者がサポートすることでマネジャーを救えないか？
 - マネジャーの時間的制約はどのくらいあるか？
 - マネジャーに必要な時間の決定と分類
 - 柔軟なスケジューリング規則は？
- 下記のようなルールがあり得る（p238）

■ マネジャーの情報処理システムに必要なもの

- 追跡監視
 - ✧ 最新の情報をすみやかに把握する

- ❖ 何かのトリガーになる具体的な情報を必要とする
- ❖ クチコミ情報・・・など・・・アナリストによるフィルタリングが必要
- 保管
 - ❖ トップクラスの組織情報のための真のデータバンク
 - ❖ 多くのマネジャーのしゃべる話はドキュメント化されていない
 - ❖ マネジャーのもつ情報に組織のメンバーがアクセスできるようにする
- 伝達周知
 - ❖ 個々のメンバーの情報ニーズに応じた、マネジャーからの情報発信

■ 経営科学者のアポリア：戦略策定システムの再プログラム化

- 以下の2点をどうマネージするかが問題
 - ❖ マネジャーには権限と情報がある
 - ❖ アナリストには時間とテクニックがある
- マネジャーがアナリストと協力した方がよい7つの領域
 - ❖ 機会探索と問題発見
 - ❖ 費用便益分析
 - ❖ モデル構築
 - ❖ 偶発的自称のための計画化
 - ❖ コンティンジェンシープランニング（不測の事態に対するプランニング）
 - ❖ リアルタイム分析
 - ❖ プロジェクトモニター
 - ❖ 適応性のある計画化

Jun Note

- ### ■ 似ている
- 教師の仕事を記述→エキスパートシステムを構築する
 - モデル化→If then...プロダクションルールで記述する